

第52期包装学校カリキュラム ◎デジタル制御技術専門課程(2025年6月～11月)

◎開講式・グループワーク (オリエンテーション)

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
1	6月18日(水) 10:00～17:00	6月27日(金) 10:00～17:00	開 講 式	包装学校長	6
			グループワーク (オリエンテーション)	企画運営委員	

◎リアル対面基礎講座

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
2	7月17日(水) 10:00～17:00	7月29日(火) 10:00～17:00	包装産業事情と包装人	大森 利夫氏 大森機械工業(株) 代表取締役社長 (一社)日本包装機械工業会 包装学校長	1
			包装機械概論ー包装機械の基礎知識 とトラブル対応ー グループディスカッション	一岡 幹朗氏 協和電機(株) 代表取締役社長	5
	7月18日(金) 10:00～17:00	7月30日(水) 10:00～17:00	包装自動化の進め方	牧野 研二氏 ゼネラルパッカー(株) 代表取締役社長	3
			包装機械のメカトロニクス化	畑野 真人氏 元(一社)日本包装機械工業会 技術部長	3

◎モーション制御実習講座

(実際の包装機械に採用されている機械制御の言語とトレーニングデモ機を使用して、機械を制御するために必要な知識とプログラミングのテクニックを習得します。)

No	日 時	テ ー マ	講座のポイント(狙い)	講 師
3	A日程 10月29日(水) B日程 11月5日(水) 10:00～17:00 包装機械会館2階	PLC(シーケンサ) ・ユニット構成特徴 ・開発ツールの操作(簡単な回路を作成) モーションコントローラの特徴 ・マルチCPU構成の概念 ・システム設定、軸設定パラメータの設定、マルチCPU設定 ・モーションプログラム概要 ・モーションプログラムの作成方法 ・同期制御概念 運転シーケンス(ラダー言語トレーニング) ・メカデモ機にて自動運転回路を作成 横形ピロー包装機の概要説明 ・メカ機とメカトロ機 トレーニングデモ機 ・デモ機仕様書説明 ・デモ機モーションシステム概要説明 ・機械原点復帰動作説明 ・初期位置移動量の方程式(計算式作成トレーニング)	プログラミングツール操作を習得する モーションコントローラシステム構成を理解する モーションプログラムを理解する モーションプログラム言語の作成方法を習得する 同期制御の意味を理解する メカデモ機で運転シーケンス回路を作成する 運転回路の標準化の重要性を把握する 横形ピロー包装機を知る 仕様書の重要性を理解する デモ機のシステム構成を把握する 横形ピロー特有の原点復帰動作を理解する 横形ピロー特有の仕様を理解する	畑野 真人氏 元(一社)日本包装機械工業会 技術部長 吉岡 伸洋氏 大森機械工業(株) イノベーション推進本部 副本部長 森本 裕紀氏 三菱電機(株) FAシステム事業本部 FAソリューションエンジニアリング部 業種アプリケーションサポートグループ 主席技師
	A日程 10月30日(木) B日程 11月6日(木) 10:00～17:00 包装機械会館2階	・初期位置移動量の算出(モーションプログラムトレーニング) ・デモ機モーションプログラムの説明 不等速データテーブル(カムデータ作成トレーニング) ・色々な動作を体験(縦ピロー、ケーサなど) デモ機の制御システム、プログラム構成説明 ・タスクの説明 タイミングカム、クラッチ、シフト機能の説明 応用実習兼修了認定試験の課題説明 (タイミングチャート作成、プログラム作成及びデバック)	カムデータの動作を体感する 他機種への応用を創造する デモ機の制御システムを理解する タイミングチャートの重要性を把握する	
	A日程 10月31日(金) B日程 11月7日(金) 10:00～16:00 包装機械会館2階	応用実習兼修了認定試験 レジマーク制御概要の説明 他社のモーションコントローラの紹介 デモ機を使っでの自由実習	レジマーク制御の考え方を理解する 他社コントローラとの相違点を知る モーション制御設計に自信を持つ	

◎修了式 (講座の修了者が対象となります)

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師
4	2026年3月5日(水) 15:30～17:00	2026年3月12日(水) 15:30～17:00	修 了 式	包装学校長 企画運営委員